

# 市政への質問

## よりよい生活のために...

その他、市民生活に直結する教育や環境などについても、多くの質問がありました。

### 教育問題

学びを活用する力  
に課題

【問】全国学力・学習状況調査において、三田市の正答率は国や県より高かった。この要因について、どのように分析しているのか。

【答】高い正答率だった理由については、学校・家庭・地域など、いろいろな要因が関連していると考えられている。

まず、三田市内の全小中学校において、熱心に進めた研究・研修が、学力向上の大きな原動力・推進力となっている。

また、県の「新学習システム」の導入、夏休みや放課後の補修学習により、児童生徒一人ひとりの状況に応じた学習・生活へのきめ細かな指導に努めていることも正

答率が高い結果につながったと考えている。さらに、家庭や地域が、子どもたちの学力向上のために協力していただいていることも大きな要因である。

しかし一方で、「学んだことを活用していく力」に課題があることも事実で、市として、引き続き子どもたちの確かな学力と豊かな心の育成に努める。

モンスター

ペアレント対応

【問】一部の理不尽な保護者への対応に学校が苦慮していると思うが、教育委員会としてはどのように学校を指導・支援しているのか。

学校へのクレームの多くは、学校と保護者が日常的に意思疎通をはかり、信頼関係を築くことで、なくなるものでもあるので、今後も学校への適切な指導と支援を行っている。



子どもたちの確かな学力と豊かな心の育成めざして

### 農業・就労支援

3つの戦略プロジェクトを展開

【問】第三次農業基本計画が策定されてから、2年が経過

【答】現在の取組み状況について伺いたい。

【問】第三次農業基本計画は、計画期間を19年度から10年程度とし、目標を定めている。その実現のため、前半の5年において、3つの戦略プロジェクトを展開している。

まず、「農村を元気にしよう」では、自ら将来の農村づくりを考えることや農村環境の保全、また専業の農業者が後継者育成活動に取り組みなど積極的な活動が展開されており、市としても支援している。

次に、「市民が支えよう」では、さらなる地産地消を進めるため、農業者だけでなく消費者・流通業界・JA兵庫六甲・行政機関などの参画により、重点テーマ別の取組みが開始している。

最後に、「三田の食と農を発信しよう」では、農業者による特徴的な取組みを紹介する広報番組の制作や市広報ホームページによる情報発信を行っている。引き続き創意工夫しながら、三田の農業を市内外に発信していきたい。

失業者の相談窓口を早期に設置

【問】失業により生活困窮となった市民がすぐに相談ができる生活保護も含めた総合的な窓口の設置や失業者向けの住宅対策を考えるべきではないか。

【答】本市では、公共職業安

定所（ハローワークさんだ）と共にハローワークプラザに「高齢者職業相談室」と「労働相談所」を設置している。ハローワークプラザでは、各種労働相談に加え、仕事のあっ旋のほか、相談者に応じた公的相談窓口の案内を行っている。

現在、市が設置するハローワークプラザ、生活保護相談窓口、国の設置するハローワークの3箇所の相談窓口で十分な連携を取り、必要な支援が行えるよう対応しているが、市庁舎内で案内できる窓口設置についても早急に検討する。

住宅対策については、ハローワークによる相談窓口のみの対応であるが、市として特別な対策は必要ないと考えている。

【問】古紙収集については委託でなく、市が直接収集すべきでないか。また、古紙収集によって既存の集団回収団体の活動資金に影響することはないか。

【答】古紙収集はシルバー人材センターに委託することにしている。この業務は、高齢者就業確保対策として重要であり、



古紙収集はじまる

高齢者の生きがいや、やりがいを生むものと考えている。

職員の関わりについては、新たな組織である「ごみ政策課」に現場職員を配置する予定にしておき、モデル地区での試行の検証を行い、本格実施に向けた取組みを行う。

また、既存の古紙の集団回収とのすみ分けについては、現在の可燃ごみの中に再生可能な古紙類が年間1,800トン含まれており、これを焼却処理せずに資源化できるように補完的に行政が実施するものである。

資源化、分別の徹底については、地域や団体の方々の活動と意識向上が不可欠であるため、集団回収団体への活動PRやネットワークづくりなど充実を図っていききたい。

### 全国学力・学習状況調査

国が全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析するものです。これにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。全国の小学校6年、中学校3年の全児童生徒がテストの対象です。

### 新行政改革プラン

市民が安全で安心して、元気に暮らせるまちの実現をめざして策定しました。目標として、23年度に経常収支比率93%、実質公債費比率17%台、20年度から23年度までの4年間で総額45億円の効果額をめざすものです。

### コミュニティバス

明確な定義はありませんが、地域に密着して、住民の利便性の向上を主な目的としたバスで、バス停の間隔が短く、公共交通機関の空白地域を巡回するきめ細やかな運行などが典型的な特徴とされています。

### ありがとう三田っ子

#### 応援基金

ふるさと納税制度に基づき三田ゆかりの方から寄附金を募るために設置した基金です。この基金を三田の子どもが元気に伸び伸び育ち、夢と希望をもってがんばれるよう応援する事業の財源とします。なお、ふるさと納税制度により5千円以上寄附した場合、住所地の市民税が寄附金の額に応じて控除されるしくみです。